

# センターだより



阿南市青少年健全育成センター **No.171** (令和4年度 秋号)

令和4年9月21日

そのような中でも**1位の項目が2つ**あります。「一人用ゲームで遊ぶ」「**ネットでチャットをする**」(LINEなど)です。

**日本は、ネットでの勉強は世界で一番しません、ゲームとチャットは、世界で一番していることが明らかになっています。日本の子どものネット利用状況は良好とはいえないのです。**

## 1 センター行事等

- ① 県補連・県セ連総会 (7/9 藍住)
- ② センター運営審議会 (7/11)



- ③ 駅・列車パトロール (6/22)
- ④ 防犯教室 (6/14 宝田小)



## 2 子どものネット状況 (神戸親和女子大学教授 金山健一)

### (1) ネット依存の低年齢化と増加

- ① インターネット利用環境実態調査【内閣府】(2020)

#### ネット利用の割合

0歳	7.1%
1歳	17.2%
6歳	71.2%
小学生	96.6%
中学生	97.6%
高校生	99.3%

(2021)

- ② 「帰宅後、一番長くしていることは何ですか。」

【金山・竹内】(2021年兵庫県の中小中高生9,810人)

#### インターネットを選択した割合

小学生	43.4%
中学生	64.3%
高校生	81.6%

厚生労働省(2018)は、**病的なネット依存が疑われる中高生が5年間で51万人から93万人に急増**したと発表しました。それは、中・高生全体である650万人の7人に一人が該当します。

#### 徳島新聞(8/2)「オンラインゲームに潜む危険①」(抜粋)

「息子がバトルロイヤル系のオンラインゲームにはまり、言葉遣いや態度が悪くなった」と話すのは、徳島市内に住む40代の女性。小学校6年生の息子は、学校の友人がしているからと言って、2年ほど前からオンラインゲームを始めた。学校の友人とチームを組んで敵と戦ったり、チャット機能で会話をしたりするなど交流の場にもなっていた。しかし、ゲームの最中には、「殺すぞ」「死ぬ」などの過激な言葉を放ち、弟や妹が話しかけると「どっかに行け」と乱暴に言い、蹴ることもあったという。夢中になる中で、学校の宿題を後回しにしたり、家族と出かけてもゲームをしたくて早く帰りがたったりするようになった。ゲームの時間も、平日で2時間以上、休日には6・7時間にも上った。

コロナ禍もあり、学校ではGIGAスクール構想が進み、一人一台のパソコンやタブレットの設置が加速しました。そのため情報モラル教育やネット依存への対応が叫ばれていますが、十分とはいえません。日本の学校教育におけるネット活用を見てみましょう。

### (2) 日本のICT教育は、最下位?!

PISAは、国際的な学習到達度の調査で有名ですが、ICT利用の調査もしています。「普段の一週間のうち、教室の授業でデジタル機器を使う時間の国際比較(2018)」(国語)(数学)では、一番活用しているデンマークが1位、日本はOECD(経済協力開発機構)のこのときの調査では、31カ国の先進国が参加した>の中で**最下位の31位**。ほかにも「コンピュータを使って宿題をする」など33個の質問がありますが、**20個の質問で最下位**でした。

### (3) ネットの生活への危険度

さらに金山・竹内(2021)の調査結果では、

- ① 「イライラすることがあるか?」という質問で

「よくある」と答えた子どもの割合

「ネット依存傾向なし」の子ども	11.6%
「ネット依存傾向あり」の子ども	25.4%

- ② 「勉強に自信があるか?」という質問で

「自信がない」と答えた子どもの割合

「ネット依存傾向なし」の子ども	22.8%
「ネット依存傾向あり」の子ども	40.7%

**ネットを長時間利用するため勉強時間を確保できていないことやネットが子どもの心に影響を与えていることがわかります。**

**まずは、子どものネットの現状を知る努力をすることが必要です。**

- ③ 徳島県のSNSトラブル (徳島県警少年女性安全対策課)

徳島県内でオンラインゲームに起因する事件はなかったものの、SNSで出会った人とトラブルになった事例は**2021年に7件**あった。2019年には、25歳の男性が女子中学生になりすまし、SNSで知り合った男子中学生に携帯電話で撮影した全裸の動画を送らせる事件があった。また、**今年(2022)5月**には、徳島県内女子中学生に裸の写真を撮って送らせたとして、岐阜県の小学校教諭の男が逮捕された。(徳島新聞8/11(ウラ)「ゲームに潜む危険」抜粋)

## 3 スポーツは「良い子」を育てるか

(横浜市立南瀬谷中学校長 瀬田川 聡)

### 「子どもの柔道 勝利第一でなく」(2022年3月22日付 朝日新聞)

「行き過ぎた勝利至上主義が散見される。そんな理由で、毎年夏に開催されていた柔道の全国小学生学年別大会が廃止となった」「保護者や指導者が審判に罵声を浴びせる。さらに保護者が自分の子どもの対戦相手をののしるケースも報告された。大会をやめないと子どもにしわ寄せがいつてしまう、となった」

次は、「**運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン**」(平成30年3月スポーツ庁)の前文からの抜粋です。

「体力や技能の向上を図る目的以外にも、異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構築を図ったり、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、生徒の多様な学びの場として、教育的意義が大きい」

本書第1章からの引用です。

スポーツの勝利は誰にとっても魅力的です。しかし、勝つことで必要以上に優越感を持ち、対戦相手を蔑んだり、能力の劣者を軽視したり、人を数値や順位で判断するような視点を持つようになるのなら、その子にとってスポーツが好ましい影響を与えたとはいえません。たとえレギュラーとしてスポーツから何かを学ぶチャンスが多く与えられても、逆に少年期の成長発達の過程では歓迎すべきでない感覚を身に付けてしまうことになるのです。

高校で運動部を続けている教え子が、あいさつに来てくれたときの話です。彼は、その種目で県大会常連の高校に進学しました。そして、全国的にも有名な強豪校と合同練習をしたと報告してくれました。

「あの強豪校と合同練習するなんてすごいなあ」

「先生、いくら強豪校でも、二度と一緒に練習したくありません。」彼は少し暗い顔をして、そう言ったのです。

私は驚いて理由を尋ねました。すると、相手校の生徒数々が「なんで、こんな格下の学校と合同練習しなければいけないんだ」と、不満を言いながら一緒に練習したそうです。私も残念な気持ちになりました。

**生徒の健闘を讃えながらも、勝利至上主義になっていないか、人としての教育を忘れていないか、常に冷静に振り返る目を持ち続けたいと思いました。**

## 4 ご相談ください

### ★ いじめ相談 ★

専用電話：24-8341  
相談曜日：平日  
相談時間：9:00~16:00

### ★ なやみごと相談 ★

専用電話：28-7830  
相談曜日：平日  
相談時間：9:00~16:00